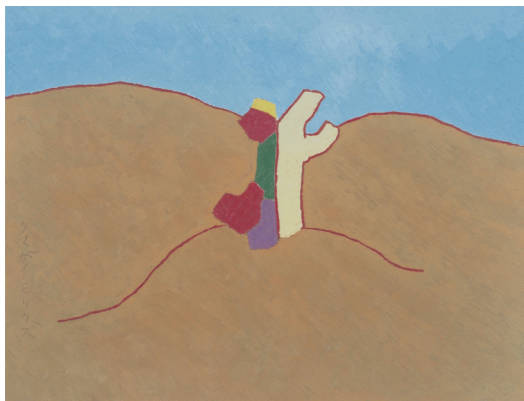


市美術館のイベントや所蔵作品を紹介します。



熊谷守一《土饅頭》1954年 北九州市立美術館

半世紀越しの作品

熊谷守一は、東京美術学校（現東京藝術大学）を卒業後、明治38(1905)年から39(1906)年まで樺太調査隊に記録画要員として参加します。樺太の漁港や海産物、植物などを絵で記録するのが守一の仕事でした。しかし、守一が描いた記録画は、大正12(1923)年の関東大震災で焼失したため現存していません。調査隊への参加から半世紀も後に、当時のスケッチを基に描いた油彩画があります。それがこの「土饅頭」です。

土饅頭とは、人の亡きがらを覆った盛り土のこと。つまり、この作品に描かれているのはお墓です。中央には白い墓標が立ち、その傍らに赤や紫、黄色の草花が添えられています。1950年代の作品らしく、赤い輪郭線と平明な色彩、一方向にそろえられた筆の向きは、この頃に完成をみる「モリカズ様式」の特徴に当てはまります。守一は、空や大地も含めて画面を構成する全ての要素を単純化した色のかたまりで表現しています。

【学芸員：森智志】

市美術館

☎0942・39・1131、FAX 0942・39・3134

熊谷守一

いのちを  
見つめて

1月13日⑩まで

目指せ！オリ・パラ

3 柔道女子：古賀若菜

将来、五輪出場が期待される久留米市ゆかりのアスリートを紹介します。



厳しい練習後にもかかわらず、笑顔で東京オリンピックに向けた決意を語ってくれた古賀若菜選手

期待の新星「令和のヤワラちゃん」

今年度の市スポーツ功績賞を受賞した古賀若菜選手は、東京オリンピック出場権を勝ち取るため、日々トレーニングに励んでいます。

兄の影響で4歳から柔道を始め、小学5年生で初めて全国制覇。中学時代には、全国中学校柔道大会で2連覇を成し遂げました。今年4月には、全日本選抜柔道体重別選手権大会で初出場初優勝の快挙を収め、同階級では「ヤワラちゃん」でおなじみの谷亮子選手以来となる高校生女王に輝きました。7月のグランプリ・モンテリオールではリオ五輪金メダリストを倒し見事優勝。続く8月には史上2人目となるインターハイ個人戦3連覇を果たしました。

東京オリンピックに向けて「皆さんの応援が励みになっています。まずはシニアの大会で結果を残せるように頑張ります。そのために、力の強い海外の選手にも負けないように組み手を強化していきたい」と語る古賀選手に注目です。 【体育スポーツ課：永松拓馬】

市体育スポーツ課

☎0942・30・9226、FAX 0942・38・2259

【プロフィール】

平成13年生まれ。5人きょうだいの長女で、現在南筑高校3年。生まれも育ちも久留米。女子最軽量級の48kg級で、東京オリンピック出場を目指す

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事取材し、発信するシリーズです。

47 ネットを使った広報？ 今回の記者：久留米大学(3年)田川龍一郎さん



ホームページには、イベント情報から手続き方法まで、さまざまな情報が載っています

ICT活用で効率的に  
E-市役所

広報くるめで、イベントなどの情報を見ることがあります。久留米市では、他にどうやって広報しているのか気になったので、広報戦略課の佐藤未来さんに話を聞きました。

—— 広報くるめ以外にどんな広報をしていますか？

ホームページの他、フェイスブックや動画など、インターネットを使った情報発信もしています。ホームページには、市のイベントから、防災などの安全に関わるものまで、さまざまな情報を載せています。久留米市のフェイスブックは五つあって、子育て支援や美術館など、目的や分野ごとに情報を発信しています。発信したい情報ではなく、必要とされる情報を、時代に合った形で発信することを大切にしています。

—— ホームページは誰が作るんですか？

皆さんが欲しい情報を一番知っている担当課が各ページを作っています。作る上では、誰でも情報にアクセスできることを重視しています。例えば、視

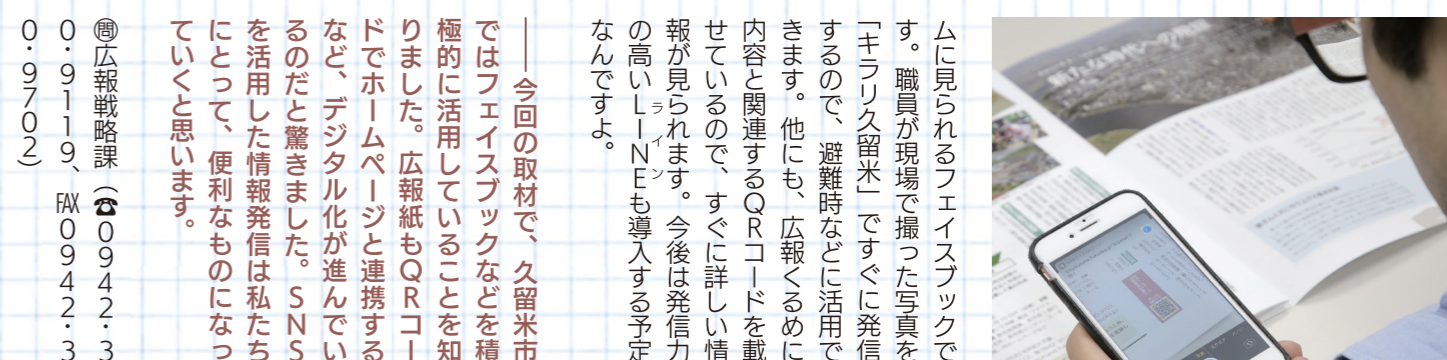
覚に障害のある人が、読み上げ用のソフトを使ってホームページを見るときに、PDFでも文字として読み上げられる形のデータをアップしています。

—— 紙とネットで発信する内容は違いますか？

広報紙やチラシでは、紙面に限りがあるので、全ての情報は伝えられません。そこで、制度や事業のポイントを絞って分かりやすく説明する、いわば読み物としての役割があります。一方、ネットでは、旬な情報を簡潔にまとめて、手軽に短時間で探せるよう、タイムリーに発信することを意識しています。

—— 役立つ活用方法を教えてください。

おすすめは、大雨時に道路などの冠水場所などをリアルタイムにチェック  
大雨による冠水などの災害状況をリアルタイムにチェック



広報紙のQRコードをカメラで読み込むと詳しい情報が見られます

—— 今回の取材で、久留米市ではフェイスブックなどを積極的に活用していることを知りました。広報紙もQRコードでホームページと連携するなど、デジタル化が進んでいるのだと驚きました。SNSを活用した情報発信は私たちがとって、便利なものになっていくと思います。

市広報戦略課 ☎0942・30・9119、FAX 0942・2・30・9702